

各位

会社名 株式会社サイトリ細胞研究所
 代表者名 代表取締役社長 堀江 聡寧
 (コード：3750 東証スタンダード)
 問合せ先 経営企画部長 藤村 剛
 (TEL. 03-6860-5701)

特別損失の計上、通期連結業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、2023年3月期において、下記の特別損失を計上いたしました。また、2022年5月13日に公表しました2023年3月期の通期連結業績予想と実績値に差異が生じました。2023年5月12日開催の取締役会において、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることを決議いたしましたので、併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社グループのリアルアセット事業におきまして、当社グループが所有する事業用資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、当連結会計年度において固定資産の減損損失205百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 業績予想値と実績値の差異について

(1)2023年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2022年5月13日発表）	百万円 3,260	百万円 320	百万円 140	百万円 20	円 銭 2.24
実績（B）	2,144	△794	△862	△1,059	△118.71
増減額（B－A）	△1,115	△1,114	△1,002	△1,079	—
増減率（%）	△33.2%	—	—	—	—
（ご参考） 前期実績（2022年3月期）	1,335	△462	△418	△77	△8.79

(2)理由

売上高につきましては、メディカル事業において、アライアンス先の選定を2023年3月までに予定しておりましたが交渉が続いており選定には至らなかったこと、また、細胞治療サービスの提供開始が当初想定より遅れていること等により予想値を下回りました。ホテル事業においては、下半期は前期との比較では大幅に回復したものの、冬場の宿泊、宴会需要の戻りが予想よりも低かったこと等の結果、予想値を下回りました。

損益面につきましては、売上高の減少分をコスト削減で吸収しきれなかったこと等により、いずれも予想値を下回りました。

3. 剰余金の配当（期末配当）について

(1) 剰余金の配当

	決定内容	直近の配当予想 (2022年5月13日発表)	(ご参考) 前期実績 (2022年3月)
基準日	2023年3月31日	同左	2022年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金の総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(2) 理由

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対しては安定配当を目指しつつ、業績と配当性向を勘案して、適正な利益還元に努めております。しかしながら2023年3月期は、上記2に記載しましたとおり、親会社株主に帰属する当期純損失1,059百万円を計上する結果となりました。つきましては、誠に遺憾ではございますが、2023年3月期の期末配当金を無配とさせていただきます。

以 上